

# 秋田大学 男鹿なまはげ分校 活動報告



平成27年度

## 目次

分校長あいさつ	秋田大学男鹿なまはげ分校長 茂木 優	… 1
平成27年度活動実績		
交流人口の増加	……………	2
地域教育力の底上げ	……………	4
市民の健康生活をサポート	……………	8
アンケート・感想	……………	13

## 分校長あいさつ

県央地域における地域貢献活動の拠点として男鹿市に「男鹿なまはげ分校」を開設して4年目に入りました。

男鹿なまはげ分校は、地域からの要望や課題を的確にくみ取り、地域の振興と発展、本学の教育研究資源や学生力を活用した地域教育力の底上げを掲げ活動しております。

平成27年度は、男鹿市の交流人口を増やす取り組みとして、神奈川大学・専修大学レスリング部合宿や、テレビなどでも有名な日本体育大学集団行動の合宿を誘致し、練習の様子を見学するために多くの市民が体育館に集まり、大いに盛り上がりました。

更に、中高年を対象とした「ニコニコ体操塾」、児童生徒の医学部訪問、理科実験教室など、秋田大学生とも積極的に交流を深める事業に取り組みました。

今後も、男鹿市の豊かで魅力的な自然・温泉・祭り・食などの観光資源を活用した情報発信強化により誘客増を目指すとともに、男鹿なまはげ分校を通じた本学の学生力も活かし、地域の活性化につながるよう市民の皆様とともに活動してまいります。



秋田大学男鹿なまはげ分校長 茂木 優

## 活動方針

男鹿市と秋田大学においては平成23年2月17日連携に関する協定を締結しました。それぞれの資源や機能活用を図りながら幅広い分野で相互に協力し地域社会の発展を目指すという主旨で、具体的な連携協力事項として、ジオパーク活動を通じた地域振興と、秋田大学の教育研究資源や学生力を活用した地域教育力の底上げを掲げ活動を展開してきました。

こうした活動を一層力強く前進させるため、男鹿市役所本庁舎内に地域活性化に向けた活動拠点として『男鹿なまはげ分校』を開設し、地域のニーズをふまえ再構築した『交流人口の増加と、地域教育力の底上げ』を基本コンセプトに、首都圏大学の文化系・体育系クラブの宿泊合宿誘致、学生力を活用した児童生徒の自学自習支援、児童生徒の医学部訪問によるキャリアモチベーションアップ、大学教員講座を織り交ぜた市民の健康づくりをサポートする総合的体操教室等、地域の活性化に寄与する様々な活動を地域の皆様や行政と協働で実践してまいります。

## 平成27年度活動実績

### 交流人口の増加

地域活動の中心となる若者層が少ない中、学生が地域で活動することへの期待が大きくなっている。また、男鹿市における発進力と受信力を高めることで「男鹿市の応援団・心の男鹿市民」を増やしたいという首長の強い思いに応えるため、首都圏の大学に働きかけ男鹿市内でのスポーツ合宿を誘致した結果、男鹿市と日本体育大学が体育・スポーツ振興に関する協定を締結することに繋がった。

今後も合宿誘致を強力に進めるとともに、秋田大学生との連携や、地元高校生や市民との交流も視野に入れた取り組みを目指す。

#### ■首都圏大学宿泊合宿誘致

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市 共催事業

#### 神奈川大学・専修大学レスリング部合宿

実施日 平成27年8月29日(土)～9月1日(火)3泊4日

会場 男鹿市総合体育館サブアリーナ

宿舎 磯乃家旅館、親栄館

参加人数 神奈川大学レスリング部 34名  
専修大学レスリング部 37名

レスリング界で培った茂木分校長自身の人脈を活かし、大学の夏季休業期間に合わせた神奈川大学・専修大学の両校による合同合宿を男鹿市で実施し、合宿の様子は市民にも公開された。

ソウル五輪レスリング金メダリストの佐藤満コーチをはじめとした各大学の指導者陣も現地入りし、合宿に参加していた県内の中学生に佐藤コーチが直接指導する場面が見られるなど、秋田県の若い世代にとっても大きな刺激となっていた。また、専修大学レスリング部の監督である馳浩衆議院議員も多忙なスケジュールの中でも練習に参加し、大きな声で学生たちを叱咤激励していた。



## 日本体育大学集団行動合宿

実施日 平成 27 年 9 月 2 日(水)～9(水)7 泊 8 日

会場 男鹿市総合体育館メインアリーナ、若美総合体育館

宿 舎 男鹿観光ホテル

参加人数 日本体育大学集団行動 74 名

男鹿市の交流人口の増加及び、秋田県内の児童・生徒へ集団行動の楽しさを理解してもらうことを目的として実施。数十人が一糸乱れぬ行進で、さまざまな陣形に変化する演技であり、日本体育大学では約 40 年の歴史がある、テレビなどでも有名な日本体育大学の集団行動の合宿を、茂木分校長自身の人脈を活かして誘致した。

今回の合宿は、大学 125 周年行事の一環として、11 月の実演会での研究発表のための訓練として行われたもので、集団行動の意義・目的を確認するとともに、地域の活性化に協力することも目的としている。

練習の様子は一般市民にも公開され、7 日間の練習の間、延べ約 5,200 人もの見学者が来場し、大学生たちの一糸乱れぬ行進や、ひたむきに練習に取り組む姿勢に拍手を送っていた。

厳しい練習の合間にも、見学に来ていた小学生に清原監督と大学生たちが直接実技指導する場面もあり、合宿の最後には、お世話になった男鹿市の方々へのお礼の気持ちをこめて、大学生全員で秋田県民歌を大合唱して会場が大きな感動に包まれる場面もあるなど、大いに男鹿市を盛り上げてくれた。

こうした縁をきっかけに、平成 28 年 2 月 23 日に男鹿市と日本体育大学は体育・スポーツ振興に関する協定を締結することとなり、同日、松浪健四郎理事長が「スポーツとオリンピック」と題して、スポーツ交流の重要性について講演した。



## ■安全寺里山保全会事業への協力

安全寺里山保全会主催事業

平成 26 年度から始まった事業であり、安全寺地区の住民で組織する「安全寺里山保全会」が、里山の美田オーナーを募り、田植え・稲刈り交流会を開催している。

本学学生がこの事業に参加する目的は、次の 2 点である。

- ①若い力（学生力）が躍動する姿で地域住民に一層の元気をもたらす。
- ②交流人口増加に貢献する。

実施日 平成 27 年 6 月 7 日(日)、10 月 4 日(日)

会場 男鹿市安全寺地区

参加者 両日ともに本学学生 10 名

その他一般参加者 40 名及び関係者多数（秋田地域振興局、男鹿市、地元住民）



## 地域教育力の底上げ

秋田大学のもつ豊富な教育研究資源と学生力を提供し、子どもたちが医学・科学などに対する興味・関心を高める取り組みや、子ども自身が具体的な将来像を描くことで学習意欲を高める取り組み、小学校教員の更なる指導力向上を目指した取り組みを展開した。

## ■男鹿市小学校陸上巡回教室

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市教育委員会 共催事業

実施日 平成 27 年 4 月 27 日(月)～5 月 1 日(金)

会場 男鹿市立船川第一小学校、男鹿市立美里小学校

男鹿市立脇本第一小学校、男鹿市立北陽小学校

男鹿市立船越小学校、男鹿市立払戸小学校、男鹿市立船川南小学校

講 師 金子 良雄 氏

参 加 者 市内全小学校の5・6年生児童 339名

船川第一 65名、美里 47名、脇本第一 53名、北陽 16名、  
船越 114名、払戸 34名、船川南 10名

5月の運動会実施に先駆けて、男鹿市内の小学生の走力向上を目的として実施した。茂木分校長自身の人脈を活かし、元高校教師で国体の陸上競技で優勝経験のある金子良雄氏に講師を依頼した。

金子氏は、腕の振り方や足の蹴り方について、実際に子どもたちと一緒にやりながら指導し、できないと思わずに挑戦することや、勝敗よりも自分の良さを出すことの大切さを伝えていた。

指導を受けた子どもたちからは、「もう一度走りたい」「きれいなフォームで走ったら距離が短く感じた」などの声があがり、指導の成果が感じられた。



## ■児童生徒の医学部訪問事業 ～男鹿なまはげ学校～

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市教育委員会 共催事業

実 施 日 平成 27 年 7 月 30 日 (木)

会 場 秋田大学医学部附属病院シミュレーション教育センター

講 師 秋田大学大学院医学系研究科 教授 安藤 秀明

医学部医学科学生 5 名

内 容 採血・縫合・腹腔鏡手術等の模擬体験

医学部医学科学生との質疑応答による交流

参 加 者 男鹿市内小学生 22 名、中学生 11 名＋保護者 1 名

将来の職業として医師を目指す子どもや医療機関での仕事に興味のある子どもが、より具体的な形で夢の実現に努力できるよう、男鹿市教育委員会との共催事業として昨年度に引き続き実施した。

男鹿市内の小中学校から希望者 33 名が参加し、人体を忠実に再現したシミュレータを用いた心臓マッサージや、腹腔鏡シミュレータを用いた模擬手術体験などによって先端機器に触れるとともに、指導にあたった医学科学生とも交流を深めた。

参加した児童生徒からは、「実際に体験してみて、その大変さやコツなどがわかった。難しかったけど楽しかった。」「医学部生徒の交流は、質問して初めてわかったことがあり、よかった。」などの声が聞かれた。



## ■わくわくドキドキ理科実験教室 ～秋田大学の一日出張実験室～

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市教育委員会 共催事業

実施日 平成27年8月9日(日)

会場 男鹿市立脇本第一小学校体育館

指導 秋田大学大学院工学資源学研究科 准教授 加藤 純雄

秋田大学大学院工学資源学研究科 講師 小笠原 正剛

指導補助 秋田大学生 15名

参加者 男鹿市内小学生 106名と保護者

秋田大学の一日出張実験室として、身の回りにある物を使用した実験や実験観察を通じ、子どもたちの理科への興味を高め、探究心を育てようとして、昨年度に引き続き開催した。

会場には13のブースを設置し、液体窒素を使った凍結実験、花火の色を再現した金属の燃焼実験などのほかにも、お楽しみコーナーとして「シャボン玉をつくろう」「スライムで遊ぼう」のコーナーも用意した。

開会後と閉会前には小笠原講師による科学実験ショーも実施するなど、実験を通して科学とふれあい、学生との交流も図られる良い機会となった。

参加した児童からは、「全部回れなかったのもっとたくさん時間がほしかった。」「次はもっと難しい実験をやってみたい。」などの声があり、科学への興味・関心が大きくなっている様子だった。



## ■男鹿市全中学校での学習講演会

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市教育委員会 共催事業

実施日 平成27年10月19日(月)、30日(金)

会場 男鹿市立男鹿北中学校、男鹿市立男鹿南中学校  
男鹿市立男鹿東中学校、男鹿市立潟西中学校

講師 秋田大学医学部医学科3年次 下間 佳奈

演題 夢に向かって努力すること

参加者 市内中学3年生181名

(男鹿北中13名、男鹿南中40名、男鹿東中103名、潟西中25名)

中学3年生の学習意欲を喚起するとともに、将来の自分の姿を見据えた学校生活を送ることができるように、男鹿市内全中学校において学習講演会を開催した。これまでは茂木分校長をはじめ、社会の各分野で活躍している方々に講師をお願いしていたが、今回は、中学生がよりイメージしやすいように、近い存在である男鹿市出身の秋田大学生を講師として実施した。

「夢に向かって努力すること」と題した講演では、なぜ勉強しなくてはいけないのか、目標をもつことの意義などとともに、おすすめの勉強法や夢のを見つけ方などについて、数年前まで中学生だった立場からわかりやすい言葉で伝え、中学生たちも高校・大学と今後の自分の進路のイメージを膨らませていた。



## ■中学準備教室

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市教育委員会 共催事業

実施日 平成28年3月17日(木)、18日(金)

会場 男鹿市立男鹿北中学校、男鹿市立男鹿南中学校  
男鹿市立男鹿東中学校、男鹿市立潟西中学校

講師 秋田大学生9名、秋田県立大学生1名、秋田高専学生1名

参加者 市内小学6年生51名

この春中学校へ進学する男鹿市内の小学校卒業生を対象に、近い将来のモデルとなる大学生からの学びを通して、中学校生活への関心や意欲を高め、中学校生活や授業へスムーズに移行できるようにすることを目的に実施した。

秋田予備校の講師が行う光通信講座において講座の進行スピードについていけない児童のサポートや、問題の答え合わせ及び解説を行い、最終日に設けられた学生と児童の懇談の時間では、児童たちの中学校生活についての不安や疑問に対して、自身の中学校生活での体験も交えて答え、「勉強を継続

することの大切さ」や、「積極的に友人をつくり、中学校生活を楽しんでほしい」などの想いを伝えていた。

参加学生の感想としては、「自分の出したヒントで子どもが問題を解けた時の嬉しそうな顔を見て、教師になりたいという気持ちがさらに強くなった」、「逆に子どもたちから元気もらった」との意見があり、また、教員志望ではない学生も「子どもとコミュニケーションをとる難しさを知る、良い経験になった」などの感想があり、学生たちにとっても貴重な経験となった。



## ■授業改善に係る研修支援事業

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市教育委員会 共催事業

対象校 男鹿市立船越小学校

講師 秋田大学地域創生センター 准教授 濱田 純

体験的な学習をベースに、自分で考え、課題を見つけ、集団で解決する探究的な学習の流れを基本として、アクティブラーニングを意識した新しい教育課程編成の必要性から、教員の授業力向上による子どもの学力向上を目指して、濱田准教授が研究オブザーバー・指導者的な立場として、学団部のミーティングや校内検討会に参加して意見するなど、船越小学校の研究推進を支援した。

## 市民の健康生活をサポート

秋田大学の良質な教育資源を活かし、超高齢社会を迎えた中においても教養を高めつつ、心身ともに健康で豊かな生活を送るための支援を行った。

## ■平成 27 年度男鹿市保健推進員研修会

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市 共催事業

実施日 平成 27 年 4 月 7 日(火)

会場 男鹿市民文化会館

講師 秋田大学大学院医学系研究科 助教 津軽谷 恵  
秋田大学大学院医学系研究科 特任助教 佐藤 亜希子

演題 ひとりひとりが主役の地域づくり ～認知症の観点から考える～

参加者 男鹿市保健推進員約 160 名

男鹿市は県内においても高齢化率の高い地域であるため、市民の保健、予防活動と健康づくりをより一層推進するために活動する「保健推進員」の活動は重要なものになっている。その保健推進員への委嘱状交付式と合わせて開催された研修会において、本学医学系研究科の教員 2 名が講演を行った。

内容としては、高齢化と認知症について、日本が置かれている現状や病態や治療、地域で見守ることの大切さなどについて講演したのち、保健推進員としての抱負や活動しているうえでの嬉しかったこと、困ったことについてグループワークを行い、これからの地域づくりについて深く考える契機となった。



## ■ニコニコ体操塾

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市ニコニコ元気アップ体操クラブ 共催事業

男鹿市ニコニコ元気アップ体操クラブが実施していた市民向け体操教室に、秋田大学教員による生活に身近なテーマを取り上げた講座や健康寿命の延伸を目指した運動講座を新たに組み入れ、総合的体操塾へとバージョンアップし実施している。

実施日 毎週水・木・金曜日

会場 男鹿市若美公民館(水曜開催)

男鹿市船川北公民館(木曜開催)

男鹿市船川港公民館(金曜開催)

講師 男鹿市ニコニコ元気アップ体操クラブ 会長 坂本 金善 氏

参加者 クラブ会員を中心に各回 10～30 名

## 《スローエアロビック講座》

スローエアロビックは、誰もが知っている身近な音楽を使って行う身体にやさしい運動で子ど

もたちの運動不足解消や一般成人の体調維持、中高年の健康寿命延伸にも有効なエクササイズとして広がりつつある。

今年度から体操塾に本格的に組み入れ、昨年度に続き秋田県エアロビック連盟からインストラクター3名を招き講座を開催した。

実施日 平成27年5月29日(金)～平成28年2月10日(水)  
月1回程度計11回開催

会場 男鹿市若美公民館  
男鹿市船川北公民館  
男鹿市船川港公民館

講師 秋田県エアロビック連盟 理事 篠原 育子 氏  
秋田県エアロビック連盟 理事 高橋 美香子 氏  
男鹿市総合型地域スポーツクラブ 進藤 昭子 氏

参加者 クラブ会員を中心に市民約100名



### 《笑いヨガ講座》

笑いの体操と、ヨガの呼吸法をあわせているところから「笑いヨガ」と呼ばれています。酸素がたくさん取り入れられ、健康と活力が実感できる体操です。グループで笑っていると、おもしろくなくてもだんだん楽しくなってくるので、無理なく続けられる運動です。

実施日 平成27年5月13日(水)～平成28年2月26日(金)  
月1回程度計10回開催

会場 男鹿市若美公民館  
男鹿市船川北公民館  
男鹿市船川港公民館

講師 「笑いヨガ」認定ティチャー 伊藤 晴美 氏

参加者 クラブ会員を中心に市民約 100 名



## ■閉じこもり予防教室

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市 共催事業

男鹿市の自殺率は、秋田県と比較して高めに推移している。そのなかにおいて 60 歳以上の自殺率は男鹿市全体の 7 割を占めるほど高い現状である。

地域全体で高齢期の心身の健康について学習し実践することで、社会的交流の促進と孤立予防を図り、住み慣れた地域でその人らしい生活の継続につなげていく。

これらの目的を達成するために、平成 27 年度は高齢期に現れやすい運動器の衰えや認知症に焦点をあて、学習・実践活動を実施した。

## 《元気いっぱい教室》

実施日 平成 27 年 7 月 14 日(火)～平成 28 年 2 月 23 日(火)【計 6 回】

会場 男鹿市男鹿中公民館  
男鹿市北浦市民センター

講師 秋田大学大学院医学系研究科 教授 岡田 恭司  
秋田大学大学院医学系研究科 准教授 若狭 正彦  
秋田大学大学院医学系研究科 助教 齊藤 明

参加者 市民約 20～30 名



## 《認知症講座》

実施日 平成27年7月16日(木)～平成28年3月17日(木)

【毎月1回程度 計10回】

会場 男鹿市脇本公民館

講師 秋田大学大学院医学系研究科  
秋田大学大学院医学系研究科  
秋田大学大学院医学系研究科  
秋田大学大学院医学系研究科  
秋田大学大学院医学系研究科

助教 猪股 祥子  
助教 藤田 智恵  
助教 津軽谷 恵  
助教 久米 裕  
特任助教 佐藤 亜希子

参加者 市民約20～30名





<p>今まではテレビで見ているだけだったけど、今日、実際体験をしてみて、その大変さやコツなどが分かった。難しかったけど、楽しかった。</p>
<p>今回、採血やちょう音波、心臓マッサージなどの体験をしてみて、机に向かう勉強だけでなく、技術的な器用さというのも大切だなと思いました。どのようなことにでも、努力することが大事だと改めて思いました。</p>
<p>医学部の勉強は、簡単だと思ったけどやってみれば難しかったです。地道にやっていかなければ出来ないんだなと思いました。</p>
<p>実際に、採血や心臓マッサージなどをやって、医療には、相手を考える気持ちや体力が必要なことが分かった。採血のときは、声かけも大事だし、心臓マッサージは1セットで体力をかなり使った。</p>
<p>学生の人に心臓マッサージなどを学びました。ひざをまげず、まっすぐにやること。ひじをまげると力が入らないと分かりました。ほかにもたくさんのことを学びとても勉強になりました。とても思い出に残りました。</p>
<p>ぼくは、不器用なので、ぬうのはうまくいかず、採血は、うまくとれなくむずかしかったです。</p>
<p>たくさん体験、見学をさせてもらって、感じたことは医者や看護師になるためには、たくさんの技術が必要だということです。1つ1つの体験の中に将来医者などになるために必要な要素がふくまれていて、とてもよい体験ができました。</p>
<p>カメラを見ながら、人形を立たせることが難しかったです。ほかにも、心臓マッサージは、ちからをいれてやらないとできませんでした。</p>
<p>人がたおれたときの心臓マッサージできづいたことは、やさしくやらないで強くやることがわかりました。強くやりすぎてこっせつしても命がだいじなので強くやることが分かった。</p>
<p>学生の人達から、心臓マッサージのやり方を教えてもらったり採血のやり方などいろいろなことを知ることができたので、将来にいかしていきたいです。とてもいい経験でした。</p>
<p>お医者さんたちは、人の命を助けたりそのために努力をしてここまで来てその気持ちが機かい1つ1つに人を助けたいという気持ちがこもっていた。</p>
<p>去年と同じような体験が多かったので覚えている事が多かったです。こんなに良いシミュレーションの機械があるのは、秋田では他にないと思うので、体験できてとてもうれしかったです。</p>
<p>自分だったらどうされたら嬉しいかななどを考えて、人と接していることが大切なんだと思った。細かい作業が多いと改めて感じた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコーでは、はいを見ることができないことや、心ぞうと体全体を見る機械は大きさがちがうことがわかりました。</li> <li>・すいぞうは思ったより、細かいことが分かった。</li> </ul>
<p>心臓マッサージをすることがとても勉強になりました。手術でははさみに似ている機械があってそれを体験したら私は「ぜったいむり」と思いました。</p>
<p>シミュレーションでさいけつなどをやるのは簡単だが、これらのことを人相手に失敗が許されない状態でやるのはとても勇気があることだと思った。もし、実際にやるようなことがあれば、今の自分ならやるきにはなれないだろう。</p>
<p>勉強だけでなく手先の技術も大切だということ。</p>
<p>ちゅ～しゃをしたりしてうまくいったのでよかった。</p>
<p>エコーでは、体全体が見えると思っていたけれど、肺は、見るすることができないことがわかりました。今まで分からなかったことが、たくさん学ぶことができたのでよかったです。</p>
<p>どれも手先が、器用じゃないとできないものばかりで、少し大変だったけど、がんばってできてとても楽しかった。特に、腹くうきょうが一番大変で苦戦しましたがなんとかできたのでよかった。</p>
<p>人形を起こして、立たせるのが、一番難しかった。初めて見る機械などがたくさんあっておもしろかった。</p>

医学部では、たくさんのシミュレーションをしていてとてもおどろきました。こんなにたくさん覚えるのがとてもきになりました。

地道にやらないと出来ないようなものばかりでびっくりしました。命は1つしかないから地道にやらないといけないことが改めてわかりました。

人の命をあずかるから、できるだけ本物らしく、もけいが作られていて、びっくりしました。でも、とても本物らしいから、実際、かん者さんに、対応するときも、しっかり対応で切るんだらうなあ…と思いました。

自分がかんたんそうだなと思ったことでも実さいにやってみると難しくおどろきました。本物でなくても血のようなものが流れていたり心臓がうごいていたものなどさまざまが本物に見えました。

3. 「医学部生との交流」を通して感じたことや考えたことを書いてください。（※原文のとおり）

単じゅんに医者になりたいなどはいいいけれどもお金目当てなどで入ると後で苦労することをしった。

本当に真けんに行っているんだなと思った。

最初の間診の説明では、どこがどのようにいつから痛むのかといろいろ聞いていたし、外国人の場合は、外国語を使わないといけないので間診は大変なんだなと思いました。

勉強の難しいことや、医者他にどのような職業につけるかを教えてもらいました。とてもおもしろい人や説明が上手な人がいたし、話しやすい人もいたのでこんな感じでいろんな人と接することができるようになりたいと思った。

一番最初にやった間診の劇では、どこがどのようにして痛いのか、だけでなく、いつ頃から痛みが現れ始めたか、また、痛みはどれだけの間続くのか、などと具体的に聞くということがわかりました。

「しゅみは何ですか？」など関係のない事にも答えてくれてうれしかったです。前野恭平さん、ありがとうございました！

医学部生の人にいろんな質問をして、わからないことがあったのをたくさん聞いてよかったです。また、60点以上点数をとらないと再テストをしなきゃならないのも、大変だなと思いました。いろんなことがわかってよかったですなと思います。

医学部生のかたからいろいろなお話をうかがい、とてもためになりました。さまざまたくさんの勉強をしてこの秋田大学医学部に入ったんだとわかりました。

大学での勉強についてや、医学部では医者他に看護・介護士や歯科医、医学療法士にもなれることを知った。

医者になりたい！看護師になりたい！これになりたい！！というような強い意志がないと絶対できないなと思いました。そのために時間を見つけてまわりに流されずに1日を過ごしていくことをつみ重ねていくことができると良いなと思いました。

医学部生との交流は本音で話せたり、質問して初めてわかったことがありました。交流してよかったですなと思いました。

医学部で活動していくことは、とても大変なのだということを感じた。「周りに流されずに自分から勉強」することを大切にしている医学部生のみなさんはすごいと思った。私も、心がけたいと思う。

学生の人にとくいになった方がいいと思ったものは、理科。ナースキャップをかぶっている人をあまり見ないと聞くとせいけつめんであったからあんまり意味がないと言っていました。分かりやすく説明をしてくれてよかったです。

質問などをして、いろいろなことを学べました。難しかった部分もあったけど、話を聞いて楽しかったです。

大学生活は、とても大変だけど、大変なりに、楽しいこともいっぱいあるということです。大学は勉強が難しいイメージがありましたが、日々の日常生活で楽しいことがいっぱいあるんだなと思いました。

何がきっかけで、医学部にはいったかをきいたら、私と、にたようなきっかけがあり、しれたのでよかったです。

質問すると分かりやすく理由をいつてくれたことがいいところだなあと思いました。

医学部生から、いろいろなことを教えてもらい、いろいろな事をいっぱい知ることができて、とてもうれしかったです。
分かりやすくその理由までくわしくぼくたちにやさしくしてくれたこと。
質問を一つすると、たくさんの答えがかえってくるので、とてもためになりました。とにかく勉強をたくさんしたいと思いました大学は、とても楽しい所だと話していたので、早く体験してみたいです。
今から、たくさんを勉強すること。時間が足りないから、やることを考えて、時間を有効に使うことが大事だということ学んだ。
みんな分かりやすく説明してくれて、すごく聞きやすかったです。
勉強のことを覚えるのが大変そうだった。
大学では、自分から勉強するしせいが大切だと聞いて、中高でしっかりとそのしせいを身につけたい。大学では時間が足りなくなるといけないので、今のうちに様々な体験をして今後の大学生活に役立つようにしたい。
すごく真面目な人ばかりでなく、おもしろい人たちがたくさんいたこと。
医学部の人たちは、いろいろなことをやって、大変そうでしたが、スマイルでやっていたのでよかったです。
テストでは、60点以下だったら、再テストをしないといけないことを知り、もし、秋田大学に入ったら、再テストにならないように、ちゃんとべん強したいと思った。
交流で、いろんな質問ができてとてもよかったです。医学部生の人から教えてもらったことをいかしていきたいと思いました。
勉強が大変そうだった。
秋田大学には、全部の勉強をする。テストなどが、必要なことが分かった。
国家試験のために真けんに勉強していて、自分のお手本みたいだなと思いました。
医学部生の人みんな、「人を助けたい」という思いでがんばっているんだろうなあ…と思いました。また、みんな笑顔で、楽しそうでした。
なにごとにもちようせんし今までがんばってきたんだなと思いました。特に、心臓マッサージは音がなかなかならなかったので、勢力がたくさん必要だと思いました。

4. 今回の医学部訪問を通して学んだことを書いてください。（※原文のとおり）

ふだんできないことをこの医学部訪問でやったりすることができてよかったです。
さい血のときには血かんの中まで注しゃきのはりをさすことが分かりました。
注射は、やってもらうときやテレビを見ているときよりも難しいと体験してみて今までよりさらに感じる事ができた。医療関係に興味を持つことができた。
医者には、どのような過程でなれるのかや、6年間ほどで国家試験を受けるということ学べました。
採血や人のほだをぬうことなど、少しでも間ちがえると人の生死を分けるような仕事だということよく分かりました。
今回の医学部訪問で学んだことはいろいろあります。とくにいんしょうにのこっているものは、いりょうめんせつなどをすること、しんきんこうそくになるまえはきょうしんしょうで、安ていと、不安ていがあること、60点以上とらないと再テストということです。ほかにもいろいろあったのですごいいいと思いました。

この医学部訪問を通して、私は、医学生のみなさんが、授業やシミュレーションなど、大変で難しいことをやっているんだと思いました。より具体的に夢の実現に努力しようと思いました。
今回、採血などを体験してみて、初めての体験で難しかったけど楽しかった。将来は栄養士だったけど、このような職にも興味を持った。
質問をしたりして、医者になる、ということは、勉強をし続けて、新しい知識を吸収していくことだと分かりました。 小・中・高時代に遊ぶときには遊ぶ、勉強するときには、勉強というメリハリをつけることが大切だと分かりました。
私たちが最初にやった心臓マッサージの体験で、どういうふうにマッサージすればいいのかがわかりました。最後の注射(採血)の体験は、うまく血管にさせなくて大変でした。でもやってよかったと思います。
私は、看護師になりたいという夢を持っているので、今回の体験はとても勉強になった。特に、心臓マッサージはやるのが初めてだった。力を入れて押すのは大変だったが、深く押さないと心臓まで届かないことが学べた。
学んだことは、私は学校で、心臓マッサージをやったことはなくても、1分間に100回やるとは知りませんでした。注しゅの時は角度30度くらいにやると分かりました。いろいろ学べて今後にかしたいと思いました。
実際やってみると、とても難しく、とても大変でした。大切なことをいろいろ聞けたりいろいろ学べました。
医療の大切さです。医療は人の命に関わる大切な仕事です。私も医学部生さんたちのように、誰かの役に立ちたいという気持ちを心の中に常にに入れておきたいです。
自分が知らないことが多く、注意てんや気をつけることをしれてよかった。
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 救急車を呼んでもらうこと</li> <li>2. AEDをもってきてもらうこと</li> <li>3. たくさんの人をよんでもらうこと</li> <li>4. 必ずかえってきてもらうことを学んだ</li> </ol>
心臓マッサージは1分間で100回など、ぬい方、採血のやり方などをたくさん教えてもらったこと。
今からでも遅くない、勉強がむずかしくなる医学部の人は苦勞に苦勞をかさねてきたこと、1つだけの命を大切にするとすること。
今回の医学部訪問は、前回にくらべシミュレーションの時間が長く細かい所まで知る事ができました。話を聞き今なにをすべきかが良く分かりました。
高校生では、やりたい事がやれなくなるので、やりたい事や勉強、部活など色々な体験をすること。遊ぶ時と勉強する時のメリハリをつけることが大事だということ学んだ。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合しんりょう科など、ふだんは聞いたことのないことが分かり、楽しかったです。</li> <li>・テストの合かく点数なども分かりました。</li> </ul>
キズロをふさぐぬい方をさいほうでいかせるなと思いました。とても勉強になりました。
全て自分がやりたいことをしている方々だったから、楽しそうにやっていた。自分も本当にやりたいことがあったとき、全てを楽しめるように今から準備をしておくことが大切だと思った。
中・高時代にたくさんすることにチャレンジしたり、勉強をがんばることの大切さ。
むずかしいことがいっぱいあったけれども、もっとむずかしいのを医学部のみんなはやっているの、すごいと思った。

秋田大学に入るのも大変だけど、入ってからも大変なことがわかった。また、むずかしい、いろいろな言葉を使うことができたのでよかったです。

外国人とも交流していたりして、すごいと思いました。医学部生達のしんさつみたいな物に英語ばんもあってすごいと思った。

知らない機械などがたくさんあって、たのしかった。

心臓マッサージなどで、私は、やりかたがまちがえていたので、これから、まちがわないで、やりたいです。そして、自分にできることは自分でやりたいです。

全ての教科を得意にすればあとで楽になるということと、あきらめずに最終までがんばればいいということ学びました。

私は、あまり医学に興味が無かったけれど、一しょうけんめい教えてくれて、よく分かりました。

色々なことを体験し学んだのでもしなにかあったらこれをいかしたいとおもいました。

5. これからの生活にいかしてみたいことを書いてください。（※原文のとおり）

もっと医りょうについて知りたいと思った。ほかにもいろいろ調べてみたいです。

今回の医学部訪問を忘れずにこのことをふまえて勉強をしていきたいと思いました。

応急しよ置の仕方や心ぞうマッサージなどのたおれている人を助けることをいつかしてみたいです。

自分の目標に向かって勉強することをがんばりたい。治療は全て簡単ではないことを考えて生活していきたい。

応急処置などは、これからの日常生活にいかしていけると思いました。

あの注しや器を、工作で、水鉄ぼうを作るときに役立てたいと思います。

人がたおれている時は、今日ならったしんぞうマッサージをしたいと思います。あと、人をたくさんよぶ、119番にれんらくする、AEDをさがしてもらう、しんぞうマッサージをやることが分かったので人がたおれていたらそれをして、助けてあげたいです。

私は、医学生のかたからうかがった勉強もそうですが、シミュレーションセンターで行った心臓マッサージなどはこれからの私にととてもためになりました。私ができなくても、他の人に教えることぐらいはできるかなと思いました。今回の「医学部訪問」はとてもいい経験になりました。

心臓マッサージは生活に活かせると思う。もしも、私の近くで人がたおれたら、今日学んだことをそれに役立たせたい。すぐに119番に電話したり、人をたくさん呼んだり、AEDを持って来たりして、人の命を救いたいたいと思った。

質問をして答えていただいた、遊びと勉強などのメリハリをつけること本当に自分のやりたいことを見つけるために、いろいろなことに積極的にとりくむこと、などを心がけて、自分のしっかりとしたぶれない目標を立てて向かっていけたらいいなと思いました。

もし、道でだれかがたおれていたら、最初にやった心臓マッサージをやりたいし、その後やったことは将来に活用したいです。

いざというときに、心臓マッサージやAEDの使い方を生かせるようにしたいです。相手の安全も自分の安全も守れるように、注意することを忘れないようにしたいと思いました。

将来は看護師なので、この体験を生かしてこれからの生活にいかしたいと思えました。とてもおもしろかったです。

「シミュレーション見学」でやった、心臓マッサージなど学んだので、もしものために、活用したいです。
もし誰かが、たおれていたら、救急の場合で教えてもらった心臓マッサージや、AEDの使い方を覚えておいて、これからの生活にいかしていきたいです。
今回、学んだことを、家や、学校いかし、しょうらいにやくだてたいです。
人がたおれてたら4のことを守ってみたいです。
もし、自分の目の前でたおれた人がいたら、今日、教えてもらったことを思い出して、人を助けたいと思います。
体の不自由な人にやさしくすること
人を助けるために今日学んだ、心臓マッサージの正しいし方など、しっかり頭に入れ、何が起きても対応できるようにしたいです。いつ、何が起ころか分からないので、心しまっておきたいです。
時間を有効に使うこと。過去問なども使いながら、予習、復習など授業を大切にすること。周りが遊んでいても周りに流されないこと。視野を広げ、色々な人と接することなど。大事なこと、今からでもできることがたくさんあったので、これからの生活では、今日学んだことをいかして頑張っていきたい。
だれかがたおれていたり、気分が悪そうな人がいたら自分のできるだけのことをしたいと思います。
もし家の人たおれたら心臓マッサージをすることが生活にいかせると思いました。
シミュレーション教育センターでやった心臓マッサージ、AEDは、もしものときに実行できるように今日やったことをすぐにできるようにしたい。大学での生活に困らないように勉強するしせいを身に付けたい。
たくさんの方にチャレンジし、目標をもって勉強すること。
ぼくの家ぞくや他の人たちが、とつぜんたおれたりしたら、ぼくが心ぞうまひをなおしてみたい。
外出しているときに、たおれている人がいたら、意しきがあるか、ちゃんとかくにんして、心ぞうマッサージをしたいと思いました。
勉強も、もちろんがんばりますが、人としてと思うことをもっと身につけていって生活にいかしていきたいです。
人工呼吸などは、自分でもできるので、もしやるきかいたらやってみたい。
もし、自分の目の前で人が倒れたりしたときは今回のことをいかしそして自分で、できることはやって、1人でも多くの人をたすけたいです。
なんでもあきらめないでちょうせんをしたいです。
医学に関係なく、医学部生のみなさんのように、なんでもあきらめずに取り組みたいです。
もしまわりでなにかあったら人を助けてみたいと思いました。(体験を思い出しながら)

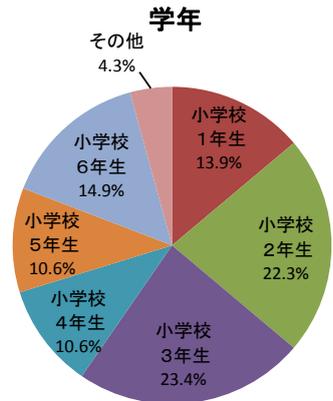
## 「わくわくドキドキ理科実験教室」 アンケート集計結果

配布数	回収数	回収率
107	94	88%

開催日時
平成27年8月9日(日) 10:00~12:00

### 1. 学年・性別

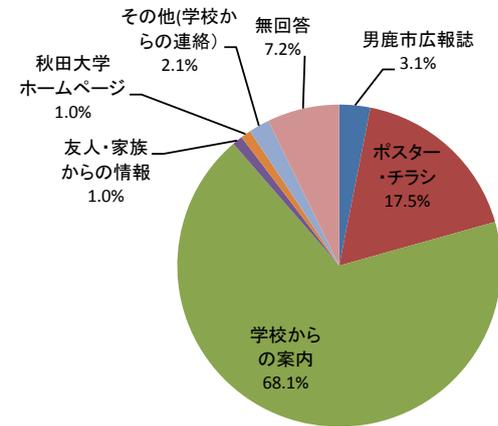
	幼稚園 未満	小学校						その他	合計
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
男		7	6	5	8	3	3	1	33
女		6	9	9	2	5	8		39
無回答			6	8		2	3	3	22
合計	0名	13名	21名	22名	10名	10名	14名	4名	94名
構成比	0.0%	13.9%	22.3%	23.4%	10.6%	10.6%	14.9%	4.3%	100.0%



### 2. 「わくわくドキドキ理科実験教室」をどのようにして知りましたか。(複数回答)

	合計	構成比
男鹿市広報誌	3名	3.1%
ポスター・チラシ	17名	17.5%
学校からの案内	66名	68.1%
友人・家族からの情報	1名	1.0%
新聞・ニュース	0名	0.0%
秋田大学ホームページ	1名	1.0%
その他(学校からの連絡)	2名	2.1%
無回答	7名	7.2%
合計	97名	100.1%

### どのようにして知りましたか。



### 3. 一番わくわくドキドキした実験は何でしたか？(※原文のとおり)

しゃぼん玉
電気を使って実験がドキドキした。
にさんかたんそのじっけん
二さんかたんそ
花火の色をつくろう
シャボン玉に入るの。
・花火の色をつくろう・スライム
スライム
えきたいちっそのじっけん
しゃぼん玉
花火
スタンプ作り
スライム
家庭におけるさんとアルカリ
スライム
花火
家庭における酸とアルカリ、起伝導をたしかめよう、けい藻土を使おう、液体ちっそでいろいろなものを冷やしてみよう。
二酸化炭素の実験
花火の色をつくろう
・スライム作り・さんそについて・土について
スライム
ねんりょう電池
風力発電

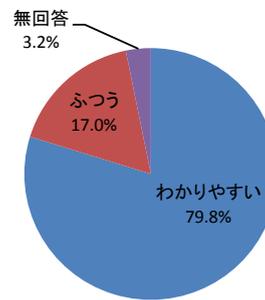
にょいの科学
こう水を作る
すべてがわくわくドキドキだった。
スライム作り
スライムをつくったのが一ばんわくわくドキドキしました。
スライムをつくったのが一番わくわくした。
スライム
しゃぼんだま
スライム
えきたいちっそ
はっほうスチロールで、スタンプを作った実験
ハンコ
スライム
えきたいちっそ
スライムであそぼう
しゃぼん玉
すらいむをつくりました。
スライム
スライム、けいそう土
にょいのじっけん
スライム
にょいしかできませんでした。
スライム作り
スライムをつくるじっけん
スライム
スライムづくり
3.1花火の色をつくろう
すらいむ
けい藻土を使おう、放射線の測定
スライム
かていにおけるさんとアルカリ
家庭におけるさんとアルカリ
スライム
シャボン玉の実験自分の体の周りがシャボン玉で囲まれてすごかった。
スライムづくり
スライム
スライム
花火の色をつくろう
すらいむ
スライム
家庭における酸とアルカリ
「花火の色をつくろう」で、どんな色になるのか、「わくわくドキドキ」した。
スライムがどのようにできたか。
スライムを作ろう
・スライムじっけん
スライム
いろがかわるじっけん
色が変わるじっけん
放射能、けいそう土
けい藻土を使おう
スライムづくり
にょいの科学
かおりづくり

すらいむづくり
すたんぷづくり
でんき
スライム
けいそうど
スライムの実験
液体ちっ素の実験
スライムで遊ぼうです。
スライム
スライム
スライムです。
しゃぼん玉
スライムです。
えきたいちっそでいろいろなものをひやしてみようです。
花火
しゃぼん玉の中に入ったこと
スライムをつくったこと。

先生の説明はわかりやすかったですか？

4. 先生の説明はわかりやすかったですか？

わかりやすい	75名	79.8%
ふつう	16名	17.0%
わかりにくかった	0名	0.0%
無回答	3名	3.2%
合計	94名	100.0%



5. その他の感想を書いてください。（※原文のとおり）

ペットボトルロケットをみんなで作ってみたいです。
しっけんは、かんじたり、たのしんだりできて、一番楽しかったです。
えきたいちっそでひやすじっけんがしてみたかったです。
虫のじっけん
スライムをもっとやりたいはっぽうスチロールやりたかった。
たのしかった。
でんきのこと
あまりじっけんができませんでした。
体育かんがあつと思いました。
においの科学
レモンじるでくるまをうごかしたい。
空きほうでスライムをこうげきするとどうなるか。
ペットボトルのてっぽうがおもしろかったです。
私は今日初めて来ました。ふつうでは体験できないようなことができている体験だったと思います。今日はとても楽しかったです。
科学の実験でできるはんい全部！！
こんなふしぎがあるとは、わかりませんでした。
スライムの小物づくり
たのしかったです。
電気のくるまにのりた。
電気で車を走らせてみたい。
今日やっていない実験をしてみたい。
石をえきたいちっそに入れる。
やっていないもの。
紙をえきたいちっそでこおらせるとどうなるか。
つぎは、もっとむずかしいじっけんをしたいです。

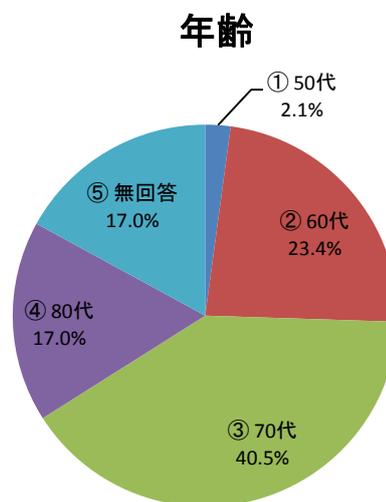
色まぜ
せいでんき
電気実験をやってみたい。
スライム
スライム
せいでんきのじっけん
コップの中からしゃぼん玉を出す実験をしたい。
ふうせんばくはつじっけんと、花火の色がきれいに見えるじっけん。
今度きかいがあったらこの実験教室にきたいと思います。
しゃぼんだまのじっけん
花火の色のじっけんで、ほかのえきたいをつかってやってみたいです。
一つの時間が長くてまわれませんでした。
空気(さんそ、にさんかたんそ)などのしくみ
ロボットのしくみ
スライムぶろをつくってじっけんしてみたい。
空気のじっけんをしてみたい
でんちがたのしかたです。
とても楽しかった。
石の中にあるもの
くうきほう
しゃぼん玉
シャボン玉に色をつけてみたい。
花の色で絵をかく
シャボンだまをやってみたかった。
しゃぼん玉をやってみたいです。とてもたのしかたです。
・ぜんぶまわれなかったのもっとたくさんじかんがほしかったです。・おんどのじっけんをしたいです。
すらいむ
スライム
楽しかったけど時間が足りなくて残念でした(もっとやりたかったです。)
くうきをつかったじっけんをもっとやりたい
しお水にゼリーを入れたらどうなるか。(ゼリーの味が)ジュースで氷を作ろう!
・火をかためさせるか(氷)で・しお水と水のちがうところを調べる・かおりがするキャンドル
スライムのでかいのをつくりたい。
たくさんの実験があつて、とてもおもしろかった。
電力をつかってじっけん
いろいろなことがわかってよかったです。らいねんもまたきたいと思いました。
すごいなとおもいました。
花火のじっけんが楽しかったです。
においのじっけんで、いろんなにおいがあつてすごかったです。
でっかいでんきをおこしたい
花火をつくるじっけん
はっぼうスチロールがとけるのがとてもおどろいた。
スライムを凍らせてみたい。
かおりの実験をしていないのでやりたいです。
サッカーボールをこおらせてはれつさせたい。
電気について
花火の色をつくろうです。ふうりょくはつでんです。
はんこのあそびをしてみたかったです。
花火の色をやってみたかったです。
スライムで色を四色まぜてみたかった。

## スローエアロビック教室 アンケート集計結果（3会場）

実施日	平成27年12月10日	平成27年12月11日	平成27年12月16日	3会場の合計
会場	船川北公民館	船川港公民館	若美公民館	
参加者数	8名	20名	19名	47名
回収数	8名	20名	19名	47名
回収率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

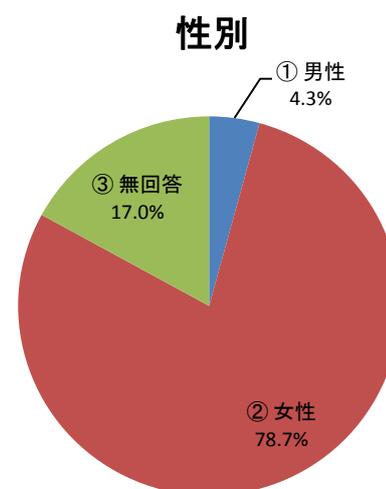
### 1. 年齢

	回答数	構成比
① 50代	1	2.1%
② 60代	11	23.4%
③ 70代	19	40.5%
④ 80代	8	17.0%
⑤ 無回答	8	17.0%



### 2. 性別

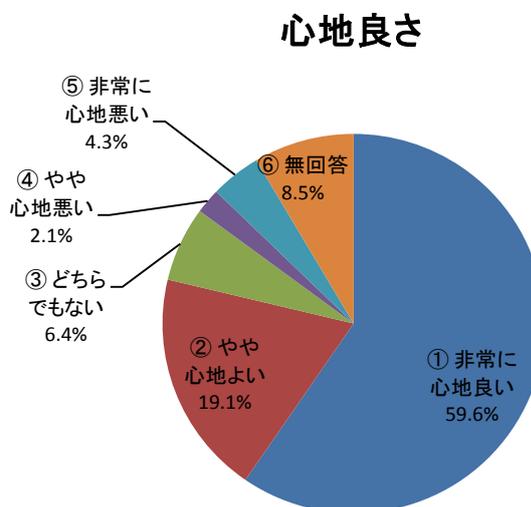
	回答数	構成比
① 男性	2	4.3%
② 女性	37	78.7%
③ 無回答	8	17.0%



### 3. スローエアロビックの感想

#### ①心地良さ

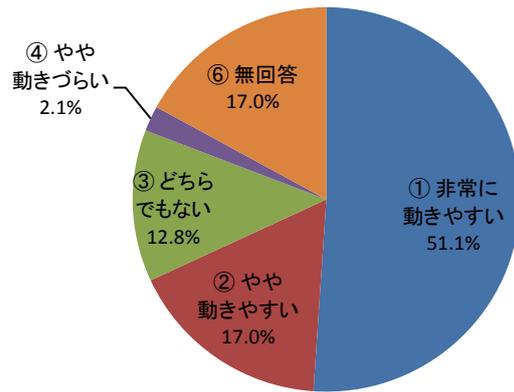
	回答数	構成比
① 非常に心地良い	28	59.6%
② やや心地良さ	9	19.1%
③ どちらでもない	3	6.4%
④ やや心地悪い	1	2.1%
⑤ 非常に心地悪い	2	4.3%
⑥ 無回答	4	8.5%



②動きやすさ

	回答数	構成比
① 非常に動きやすい	24	51.1%
② やや動きやすい	8	17.0%
③ どちらでもない	6	12.8%
④ やや動きづらい	1	2.1%
⑤ 非常に動きづらい	0	0.0%
⑥ 無回答	8	17.0%

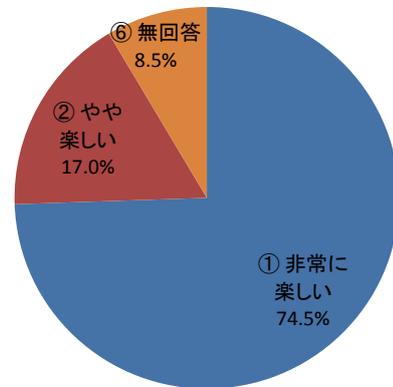
動きやすさ



③楽しさ

	回答数	構成比
① 非常に楽しい	35	74.5%
② やや楽しい	8	17.0%
③ どちらでもない	0	0.0%
④ ややつまらない	0	0.0%
⑤ 非常につまらない	0	0.0%
⑥ 無回答	4	8.5%

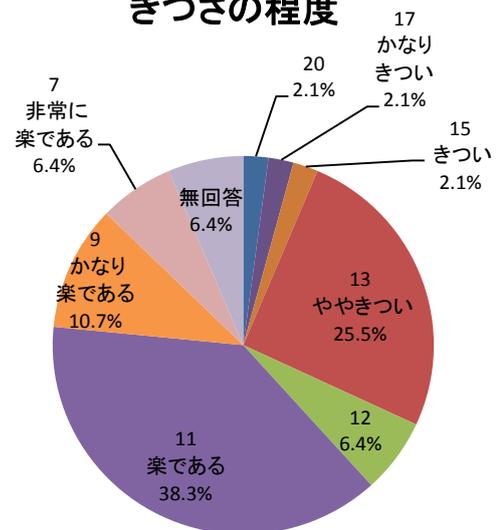
楽しさ



4. スローエアロビックスの「きつさの程度」はどうですか

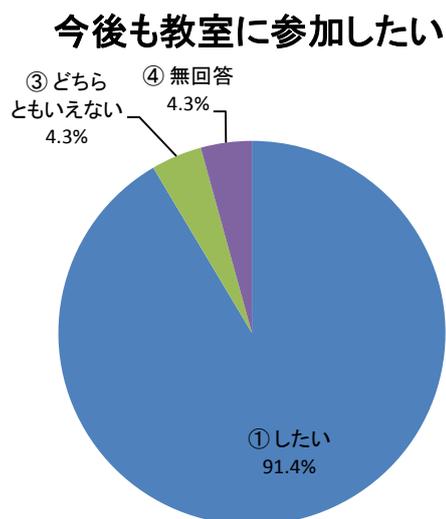
	回答数	構成比
① 20	1	2.1%
② 19 非常にきつい	0	0.0%
③ 18	0	0.0%
④ 17 かなりきつい	1	2.1%
⑤ 16	0	0.0%
⑥ 15 きつい	1	2.1%
⑦ 14	0	0.0%
⑧ 13 ややきつい	12	25.5%
⑨ 12	3	6.4%
⑩ 11 楽である	18	38.3%
⑪ 10	0	0.0%
⑫ 9 かなり楽である	5	10.7%
⑬ 8	0	0.0%
⑭ 7 非常に楽である	3	6.4%
⑮ 6	0	0.0%
⑯ 無回答	3	6.4%

きつさの程度



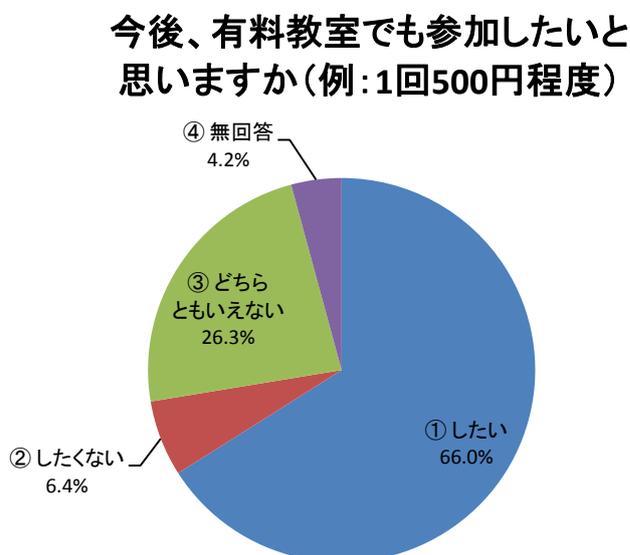
5. 今後も教室に参加したいと思いますか

	回 答 数	構 成 比
① し た い	43	91.4%
② し た く な い	0	0.0%
③ ど ち ら と も い え な い	2	4.3%
④ 無 回 答	2	4.3%



6. 今後、有料教室でも参加したいと思いますか（例：1回500円程度）

	回 答 数	構 成 比
① し た い	31	66.0%
② し た く な い	3	6.4%
③ ど ち ら と も い え な い	11	23.4%
④ 無 回 答	2	4.2%



7. その他、教室の感想や身体の変化など、ありましたら自由にご記入ください（原文まま）

1	楽しく出来ました。
2	回数を多くして下さい。
3	ニコニコ体操で一緒に楽しみたい。
4	とても体調が良いと思います。
5	すごく楽しく過ごしました。

6 たのしい。

7 体が調子よくなりました。

8 自分の身体にいいので続けていきたい。たのしみにしています。

9 自分の身体にいいのでつづけていきたい。たのしみにしています。

10 本当にたのしかった。自分の身体の動きにむりなく良かった。笑うということはよいことです。

11 私はとしだからつかれる。

12 右肩が腱板大断裂でリハビリに通っております。思うように身体を動かされないのが残念です。

13 今、足首いためておりますのでまだ出来ませんので休みました。

14 たのしく出きました。これからも、つづきたい。

15 大変良かった。

16 先生に感謝します。

17 たのしい。

18 月に2回位ほしい。よろしく。

19 月2回ぐらいほしい

20 とても終わったあと満足です。  
日常に取り入れることができそうと思います。

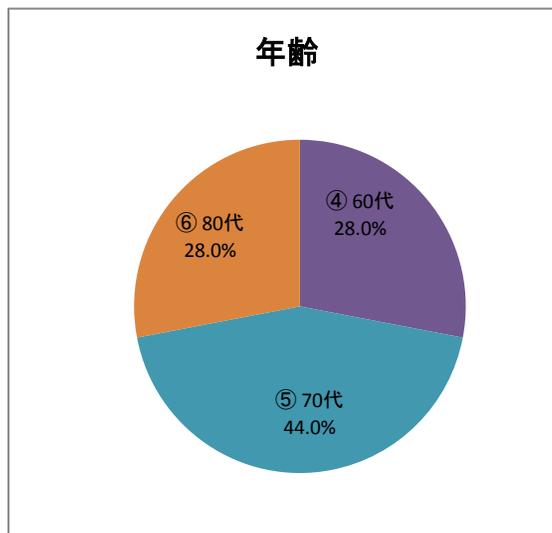
21 続けていただければありがたいです。月1回ずつでも

## 『いつでもだれでも健康教室・元気いっぱつ教室 健康講座』 参加者アンケート集計結果

参加者数	25	名	回収数	25	名	回収率	100.0	%
------	----	---	-----	----	---	-----	-------	---

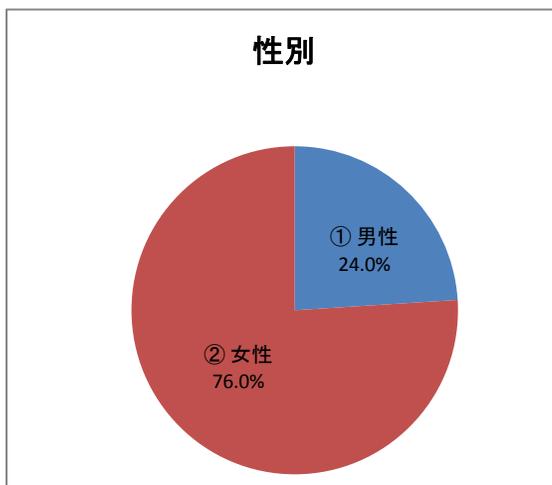
### 1. 年齢

	回答数	構成比
① 30代	0	0.0%
② 40代	0	0.0%
③ 50代	0	0.0%
④ 60代	7	28.0%
⑤ 70代	11	44.0%
⑥ 80代	7	28.0%
⑦ 90代～	0	0.0%
⑧ 無回答	0	0.0%
合計	25	100.0%



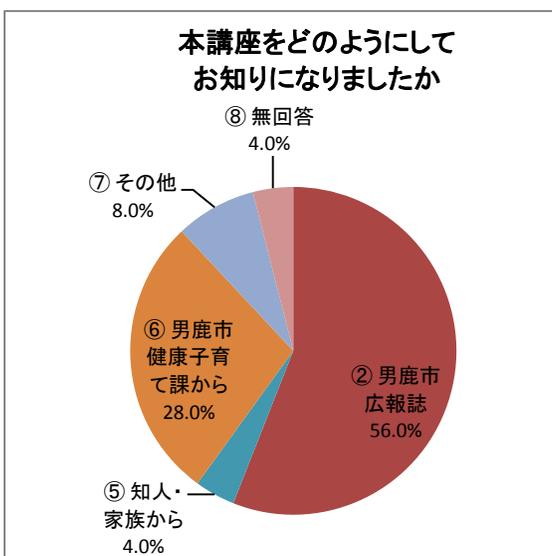
### 2. 性別

	回答数	構成比
① 男性	6	24.0%
② 女性	19	76.0%
③ 無回答	0	0.0%
合計	25	100.0%



### 3. 本講座をどのようにしてお知りになりましたか

	回答数	構成比
① ポスター・チラシ	0	0.0%
② 男鹿市広報誌	14	56.0%
③ 新聞・ニュース	0	0.0%
④ 秋田大学HP	0	0.0%
⑤ 知人・家族から	1	4.0%
⑥ 男鹿市健康子育て課から	7	28.0%
⑦ その他	2	8.0%
⑧ 無回答	1	4.0%
合計	25	100.0%

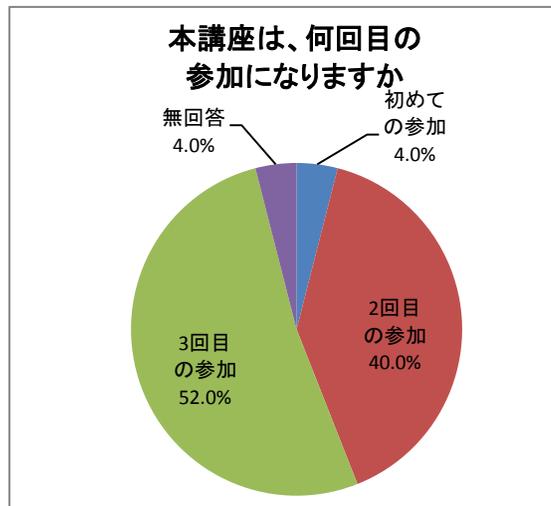


【「その他」の回答】

・老人クラブ 1名    ・ハツラツ体操 1名

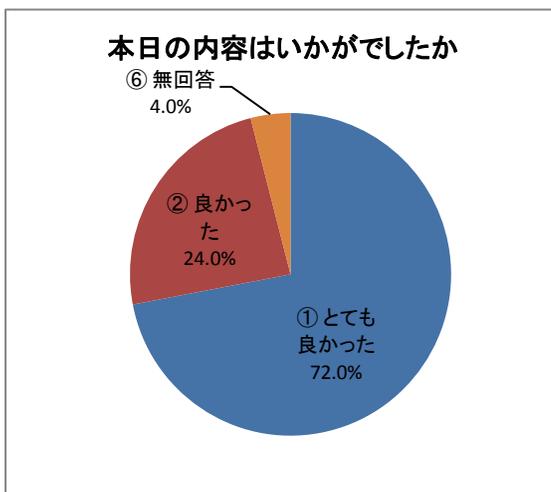
#### 4. 本講座は、何回目の参加になりますか

	回答数	構成比
初めての参加	1	4.0%
2回目の参加	10	40.0%
3回目の参加	13	52.0%
無回答	1	4.0%
合計	25	100.0%



#### 5. 本日の内容はいかがでしたか

	回答数	構成比
① とても良かった	18	72.0%
② 良かった	6	24.0%
③ ふつう	0	0.0%
④ あまり良くなかった	0	0.0%
⑤ 良くなかった	0	0.0%
⑥ 無回答	1	4.0%
合計	25	100.0%



#### 6. 本日の感想など、ご自由にお書きください(原文のまま)

1	今後の生活にとり入れていきます。
2	これからも続けてください。
3	これからもよろしくお願い致します。
4	これからもよろしくお願い致します。
5	おもしろかった。
6	ありがたい又よろしくお願い致します。

#### 7. 開催日時や開催スタイルなど、お気づきの点がございましたらお書きください(原文のまま)

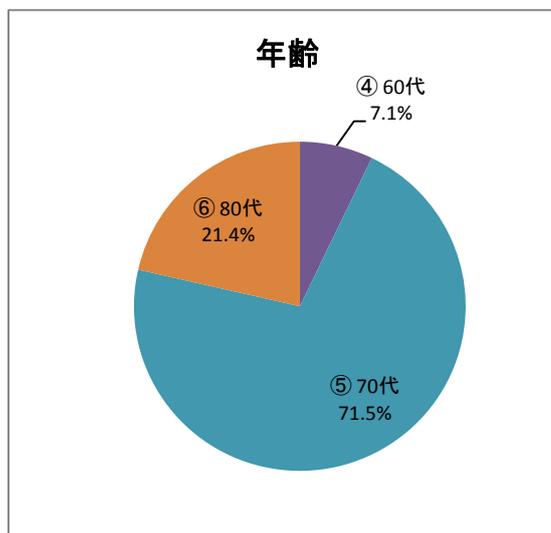
※回答なし

## 『元気いっぱい教室 認知症講座』 参加者アンケート集計結果

参加者数	14	名	回収数	14	名	回収率	100.0	%
------	----	---	-----	----	---	-----	-------	---

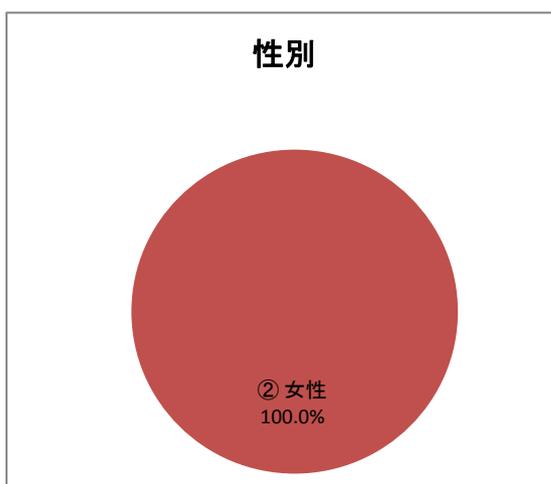
### 1. 年齢

	回答数	構成比
① 30代	0	0.0%
② 40代	0	0.0%
③ 50代	0	0.0%
④ 60代	1	7.1%
⑤ 70代	10	71.5%
⑥ 80代	3	21.4%
⑦ 90代～	0	0.0%
⑧ 無回答	0	0.0%
合計	14	100.0%



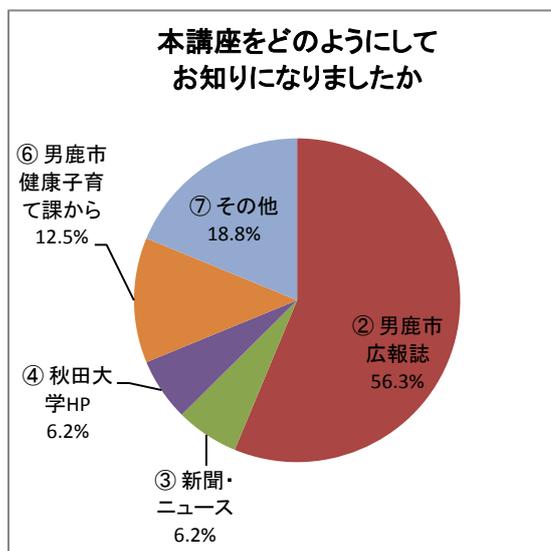
### 2. 性別

	回答数	構成比
① 男性	0	0.0%
② 女性	14	100.0%
③ 無回答	0	0.0%
合計	14	100.0%



### 3. 本講座をどのようにしてお知りになりましたか

	回答数	構成比
① ポスター・チラシ	0	0.0%
② 男鹿市広報誌	9	56.3%
③ 新聞・ニュース	1	6.2%
④ 秋田大学HP	1	6.2%
⑤ 知人・家族から	0	0.0%
⑥ 男鹿市健康子育て課から	2	12.5%
⑦ その他	3	18.8%
⑧ 無回答	0	0.0%
合計	16	100.0%

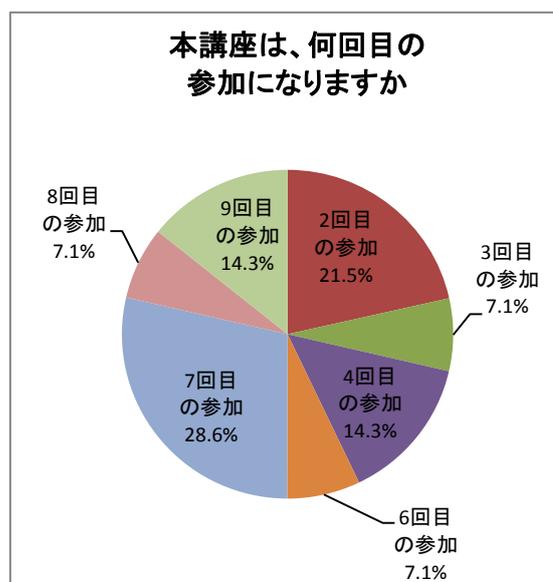


【「その他」の回答】

・婦人会 3名

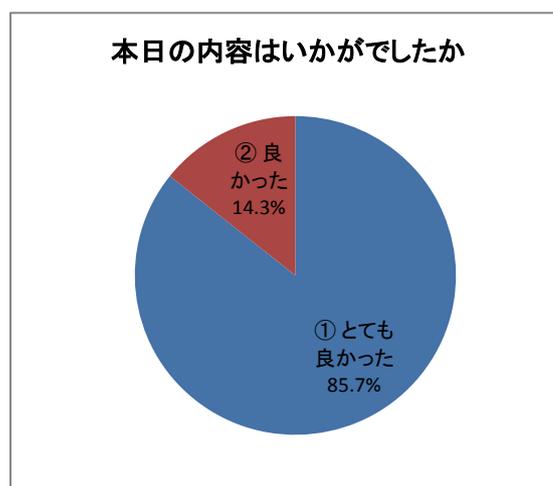
#### 4. 本講座は、何回目の参加になりますか

	回答数	構成比
初めての参加	0	0.0%
2回目の参加	3	21.5%
3回目の参加	1	7.1%
4回目の参加	2	14.3%
5回目の参加	0	0.0%
6回目の参加	1	7.1%
7回目の参加	4	28.6%
8回目の参加	1	7.1%
9回目の参加	2	14.3%
無回答	0	0.0%
合計	14	100.0%



#### 5. 本日の内容はいかがでしたか

	回答数	構成比
① とても良かった	12	85.7%
② 良かった	2	14.3%
③ ふつう	0	0.0%
④ あまり良くなかった	0	0.0%
⑤ 良くなかった	0	0.0%
⑥ 無回答	0	0.0%
合計	14	100.0%



#### 6. 本日の感想など、ご自由にお書きください(原文のまま)

- 1 とても良かった。ありがとうございました。
- 2 とても楽しくあつと言うまにすぎてしまいました。  
頭の体操も出来て物忘れも少しは少なくなったでしょう。
- 3 とても来て良かったです。
- 4 大変頭の運動良かったです。
- 5 又、やってほしいです。

6	全体の雰囲気、とても、あたたかく、先生方、はじめ市の係の方のやさしい気づかいが、とても、うれしかったです。
7	コグニサイズとても楽しかった。 来年度も是非やってみたいと思います。企画よろしくお願ひします。先生方、本当に有難うございました。
8	この先もよろしく。
9	すごくよかったです。
10	これからもあったほうがいいと思う。

**7. 開催日時や開催スタイルなど、お気づきの点がございましたらお書きください(原文のまま)**

1	午前が良い気もします。
2	私はとてもためになった。
3	これで良かったです。
4	今年も、来年も、来れる以上、参加したいと思います。
5	時間帯、午後でよかったです。



## 秋田大学男鹿なまはげ分校

〒010-0595

秋田県男鹿市船川港船川字泉台66-1

男鹿市役所総務企画部企画政策課内

TEL 0185-24-9126 FAX 0185-23-2424

E-mail [shakoken@jimu.akita-u.ac.jp](mailto:shakoken@jimu.akita-u.ac.jp)

編集・発行 秋田大学男鹿なまはげ分校  
秋田大学地域創生センター

平成28年12月